

産婦人科医療における性暴力被害直後の被害者への看護実践モデルの構築に関する研究

1. 研究の対象

調査 3：対象者は性暴力被害直後の被害者支援経験のある産婦人科医師 10 名程度。

調査 4：対象者は性暴力被害者支援に関わっている支援員および警察官 10 名程度。

2. 研究目的・方法

研究目的：本研究は、産婦人科医療における性暴力被害直後の被害者への看護師のケアの実際、産婦人科医師及びワンストップセンターの相談員や警察官が期待する被害者支援時の看護師の役割、性暴力被害者の望む被害直後の産婦人科医療を明らかにし、産婦人科医療における性暴力被害直後の被害者への看護実践モデルを構築することを目的とする。

研究手法：インタビューガイドを用いた半構成面接を実施し、分析方法は質的記述的内容分析を用いる。

所要時間（研究対象者が研究のために費やす所要時間）は、インタビュー調査であり、各対象者から丁寧に経験や実践、考えを聞く必要があるため 60 分と考える。

研究期間：承認を受けた日 ～ 2017 年 3 月 31 日

2. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：研究協力者の性暴力被害者支援の経験、支援の実際、看護師との連携や期待する役割についてインタビューしたデータ等

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、情報が当該研究に用いられることについて研究協力者の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

研究者：茨城県立医療大学 保健医療科学専攻 家吉望み
〒300-0394 茨城県稲敷郡阿見町阿見 4669-2
TEL 090-5342-9221 E-mail 45050076@ipu.ac.jp

研究責任者：

茨城県立医療大学保健医療科学研究科 家吉望み

研究指導教員：茨城県立医療大学保健医療学部看護学科 教授 加納尚美

以上